

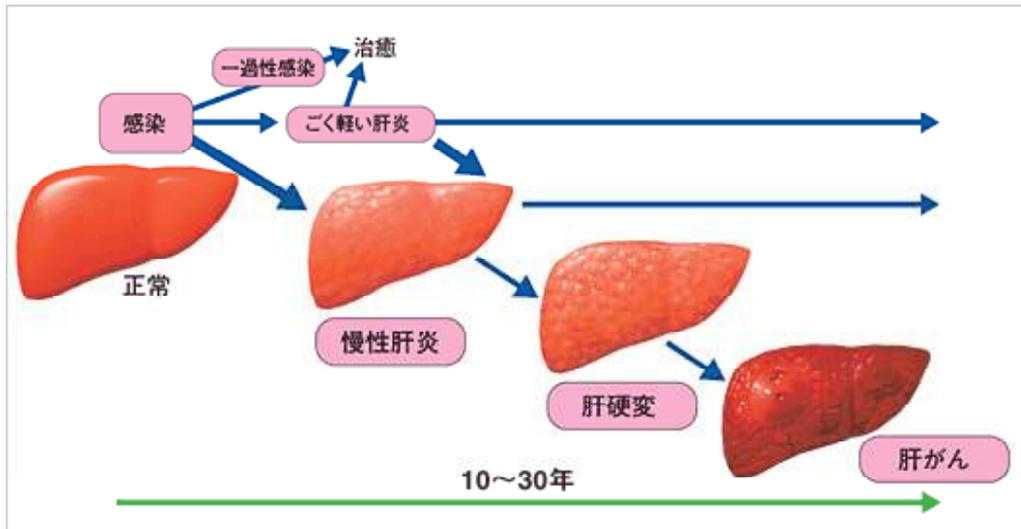
肝炎ウイルス検査を受けましょう！

◆肝炎とは？

肝炎はわが国最大の感染症です。肝炎ウイルスの持続感染者は、B型肝炎ウイルスが110万人～140万人、C型肝炎ウイルスが200万人～240万人ほど存在すると推定されています。

しかし、肝炎は自覚症状がでにくく、**感染に気づかない**ことも多いのです。このため、本人も気がつかないうちに、**肝硬変や肝がん**に進行してしまうことが多いです。

わが国の肝がんによる死亡者数は約3万2千人で、**がん死亡の第3位**となっています(2004年)。肝がんの原因の約8割がC型肝炎ウイルス由来です。肝がんを防ぐには、肝炎をはやい段階で発見し、治療することが重要です。



◆インターフェロン治療の医療費助成制度

肝炎から、肝硬変や肝がんへの進行を防ぐには、**インターフェロン治療が有効**です。とくにC型肝炎では、約5～9割の人に治療効果が期待できます。しかし、費用が高いこともあり(月額およそ7万円程度の自己負担)、実際に治療を受けられる方は多くはありませんでした。

このたび、国を挙げて**肝炎の早期治療を推進**する目的で、「**インターフェロン治療の医療費助成制度**」が平成20年度から始まりました。

この助成により、インターフェロン治療の**自己負担額が軽減**されます(月額1万円～5万円。市町村民税課税年額によって異なります)。感染経路を問わずに行う助成ですので、血液製剤投与のカルテ等は不要です。

◆肝炎ウイルス検査

肝炎にかかっているかどうかを診断するには、肝炎ウイルス検査を受けることが必要です。特に、以下にあてはまる方は、**肝炎ウイルス検査をおすすめします**。

- 平成4年 以前に輸血を受けたことがある(出産時を含む)
- 長期に血液透析を受けている
- 輸入非加熱血液凝固因子製剤(または同等のリスクを有する薬剤)を投与されたことがある
- フィブリノゲン製剤を投与されたことがある
- 大きな手術を受けたことがある
- 臓器移植を受けたことがある
- 入れ墨(タトゥー)、ボディピアスをしている
- 健康診断等で肝機能の異常を指摘されたが、肝炎の検査は受けていない
- 薬物濫用者

まずは、**肝炎ウイルス検査を受けましょう**



※医療法人順秀会 東山内科小児科・東山健康管理センターと スカイル内科・スカイル健康管理センター 及び 星ヶ丘内科・小児科とは、診察時間が異なります。診察時間と各科専門医師の分担表を裏面に記載してあります。

※24時間対応コンピュータ予約システム(電話・インターネット・携帯電話・i-mode対応)

◆医療法人順秀会homepage: <http://www.junshu.jp>

◆健診結果・医学的内容に関するご質問は: med@junshu.jp

◆メンタルヘルスケア(心の窓)心療内科への相談は: mind@junshu.jp

◆検査予約・検査料金や医療事務に関するお問い合わせは: info@junshu.jp